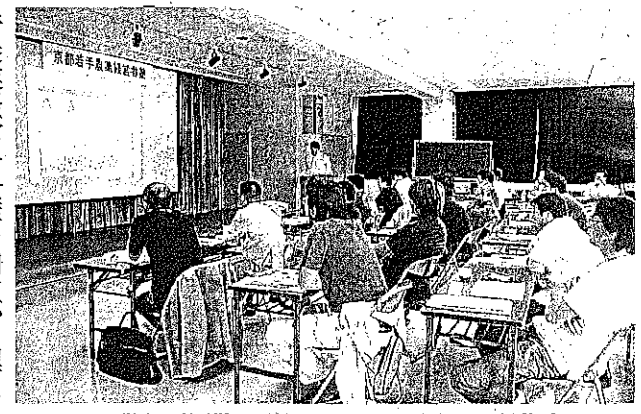


# 経営力向上へ 若手農家学ぶ

者は毎月1回、顧客の  
視点を農業経営者の理  
念などを学んで各自の  
事業計画を作り、来年  
3月の最終回で発表す  
る。  
(村尾之範)

## 綾部で「塾」始まる



企業的農業経営について学ぶ受講者  
(綾部市位田町・府立農業大学校)

京都若手農業経営者塾が26日、綾部市の府立農業大学校で開講し、参加者は早速、経営力向上を目指して学んだ。

次代を担う農業経営者を育成するため、府と一般社団法人・アグリフューチャージャパンが主催。北部の20、30代を中心に、府内から20人余りが受講を申し込んだ。

この日講演した2人のうち、九条ねぎを生

産し加工、出荷する農業生産法人「こと京都」(京都市)の山田敏之社長は、カットネギをラーメン店に販売することなどで売り上げを伸ばしたこれまでの取り組みを説明。そのまま出荷するのでなく加工することの意義や、商品について生産者にはできない情報発信をすることの重要性を説いた。講演後、参加者はグループワークで意見交換をした。受講

者は毎月1回、顧客の視点を農業経営者の理念などを学んで各自の事業計画を作り、来年3月の最終回で発表する。